

# 松原湖バイブルキャンプ

## 奉仕者ガイド

# カウンセラー

2019年 7月 1日 改訂



日本同盟基督教団 松原湖バイブルキャンプ

〒384-1103 長野県南佐久郡小海町豊里 4912

TEL▶ 0267-93-2347 FAX▶ 0267-93-2475

E-MAIL▶ info@matsubarako.com HP▶ <http://matsubarako.com>



## [ I ] カウンセラーとしての心得

### 1、カウンセラーとは

バイブルキャンプにおける「カウンセラー」とは、次の働きをする人です。

- (1) キャンパーといっしょにキャンプ生活を送りながら、
- (2) 言葉と行動の両面をもって主イエス・キリストを証しし、
- (3) キャンパーの霊的成長を助ける人。

カウンセラーは、キャンパーと親しく接し、その心にある思いに耳を傾け、御言葉と祈りをもって導き、励まし、主キリストにあって堅く立たせる大切な役割を担います。

### 2、カウンセラーとしての心構え

その務めを果たすために、次のような心構えが大切になります。

#### (1) カウンセラー自身が主イエスにとどまる

奉仕で良い実を結ぶためには、自分自身が主イエスさまにとどまっていることが欠かせません(ヨハネ 15:5)。日々の御言葉と祈りによる主との交わりを大切にし、罪から離れて自分を聖く保ち、主の御業を待ち望みましょう(Ⅱテモテ 2:21)。

#### (2) 全力でキャンパーを愛する

主の愛にならい、私たちも全力でキャンパーを愛しましょう。えこひいきすることなく、キャピンの全員に気を配り、ありのままの姿を認め、愛情を注ぎましょう。

#### (3) キャンパーの模範になる

キャンパーたちは信仰者としての生活をカウンセラーの姿を通して学びます。口だけでなく、言葉と行いの両面で、キャンパーの模範となりましょう。

#### (4) キャンプを楽しむ

まずカウンセラー自身が積極的にキャンプを楽しみましょう。それは必ず周囲に伝わっていきます。周りをも楽しませる姿勢を持ちましょう。

#### (5) プログラムを理解する

プログラムの一つ一つには目的、目標、メリットがあります。それを良く理解し、メリットが十分に活かされ、目標が達成できるようにキャンパーを導きましょう。

#### (6) 主があなたを召してくださり、用いてくださることを信じる

「自分にはカウンセラーの資格はない」という失意のときこそ、弱さを神様が用いてくださるという約束を思い出し(Ⅰコリント 1:26~29)、御言葉に信頼し、期待して奉仕に当たりましょう。

#### (7) 救霊は御霊の働きによることを知る

神さまは人を用いられますが、人の心を開いて信仰に導くのは聖霊の御業です(Ⅰコリント 6:3)。自分の力ではなく、御霊の働きに自分自身を委ねましょう。

## [Ⅱ] カウンセラーの実際の働き

### 1、キャンプ開始までの働き

(1) 到着はキャンプの前日17時まで

全奉仕者は、担当キャンプの前日17時までにはキャンプ場にお越しいただくことになっています。やむを得ず間に合わない時は、必ずキャンプ場に連絡してください。到着したら、まずオフィスでスタッフ登録をしていただきます。

(2) キャンプ開始までに

- ① ミーティング出席（アナウンスがあります。顔合わせ、打ち合わせ、祈り）
- ② キャンプ場の諸施設を確認（特に初奉仕や久しぶりの方。案内地図あり）
- ③ 自分が担当するキャンピンのキャンパーを確認（配布資料あり）
  - ・名前を覚える（初めて本人と挨拶する時に言えるように）
  - ・情報を確認する（参加回数、信仰の状態、持病、アレルギー、備考等）
  - ・ひとりひとりのために祈る

### 2、キャンプ中の働き

(1) キャンパーをキャンプになじませる働き

カウンセラーの第一のつとめは、キャンパーが少しでも早く馴染めるようにすることです。あなたの温かい笑顔と歓迎が、キャンパーの不安を安心に変えていきます。

(2) 生活における助け

カウンセラーの第二のつとめは、キャンパーの生活を助けること。これはキャンパーの年齢が低ければ低いほど、カウンセラーの仕事の中で大きな比重を占めます。

#### 1 食事について

- ① （特に小学生は）まずトイレ：食事に行かなくてすむように、前もって。
- ② 食堂に入る：鐘が鳴るまでは入らないようにしてください。
- ③ 手洗い：必ず石鹸で手をよく洗ってから席に着くように促します。
- ④ 配膳：キャンパーが協力し合うことを促しながら配膳します。
- ⑤ その他
  - ・講師やプログラムスタッフが同席する場合は、テーブルへ案内します。
  - ・来ていないキャンパーの分は取っておきましょう。
  - ・ナース室等で休んでいる人の食事は、カウンセラーが届けてあげます。
  - ・食事の交わりが楽しくなるように、全員に気を配りましょう。
- ⑥ 片づけ：通常、「ミスターキッチン」の指示に従って行います。

## 2 お風呂について

お風呂は、レイクサイド・シオンの地階にあります。

- ① キャンパーと一緒に風呂に行きましょう（一緒に入ると親しくなれます）
- ② 決められた時間内に入りましょう。
- ③ 浴槽に入る前に体をよく洗うように指導してください。
- ④ 忘れ物に注意！ キャンパーが出た後、忘れ物の確認をしてください。

## 3 自由時間について

- ① キャンパーがキャンプ場内にいるか、キャンプ場外にいるかを把握してください（小学・中高キャンプなどは基本的にキャンプ内で過ごします）。
- ② キャンプ場外に出る場合は、オフィスの外出チェックノートに必要事項を記入し、戻ったら再びオフィスに声をかけてください。
- ③ カウンセラーはできるだけキャンパーと一緒に行動してください。一緒に遊んだり、楽しんだりすることを通して、キャンパーの心は開かれます。
- ④ 自由時間にはもう一つの面があります。それは、カウンセリングをする絶好のチャンスであるということです。カウンセラーがキャンパーと一対一で話し、祈る時間をぜひもってください。

## 4 ケガ・事故・病気

- ① カウンセラーが動転しないように

まずはこれです。どんな事態が起こっても、カウンセラーが落ち着いて行動しなければ、キャンパーは不安になり、パニックになってしまいます。適切な処置（応急処置）をして、必ずオフィス、リーダーに連絡してください。

- ② 安心してください、ナースがいます

キャンプには期間中、原則としてナース（医療従事者）が奉仕しています。また地元の病院との連携がありますので、必要があれば病院で診察を受けられます。

- ③ 「大丈夫！ 神さまにお祈りしよう」

適切な処置をするとともに、これらの言葉、そして祈りが何より大切です。

- ④ キャピンのキャンパーと共に祈りましょう

ケガや病気、事故にあったキャンパーのためにキャピンのキャンパーと共に祈りましょう。可能であるなら、そのキャンパーの枕元に行って祈りましょう。そのことによって、ほかのキャンパーたちも、他の人のために祈ることの尊さを学び、神様の御業を経験するのです。（ローマ8：28）

このような時こそ、主に依り頼むことを学び、生きて働かれる主の御業を味わい知ることができます。それはキャンパーにとって、信仰の成長をもたらす経験となるでしょう。

## 5 集会の時間を守りましょう

キャンパーが集会時間に遅刻しないように気を配りましょう。5分前集合を心がけましょう。特にメッセージの前は、皆で祈ってから集会に臨みましょう。

## 6 消灯・睡眠

- ① キャンパーの健康管理と、また翌日も充実したキャンプ生活が送れるように、消灯時には寝させるようにしてください。またカウンセラー自身も良い睡眠をとるように心がけましょう。キャンプ場は標高1180mの所にあるため、普段よりも疲れやすくなります。寝不足は体調不良やケガに繋がりがりやすいですし、メッセージ中に居眠りしてしまってもは大変残念です。
- ② 寝る前に洗面とトイレを済ませておきましょう。
- ③ 小学生の場合、夜中にトイレに連れて行く必要のあるキャンパーがいますので、個人的に確認しておきましょう。その場合には、そのキャンパーをキャビンの出入口の近くに寝かせるとよいでしょう。
- ④ もし、おねしょをしてしまっても、そのキャンパーが気落ちしないように、出来るだけ他のキャンパーに気づかれないように対処し、オフィスに連絡してください。キャンプ側で代わりの布団等を用意します。

以上のように、キャンパーの生活を手助けすることもカウンセラーの大切な務めです。それを通して、キャンパーへの愛が表され、彼らは愛することの尊さを体験していきます。生活のすべてをもって模範を示し、良い証しを立てましょう。

## (3) プログラム進行に対する責任

### 1 カウンセラーミーティングに出席する

毎日カウンセラーミーティングが開かれます。プログラムの確認、情報の共有、担当キャビンのキャンパーの状態についての報告（健康状態、霊的な様子）など

### 2 司会や証し、奏楽等の奉仕を担当する

キャンプによっては司会や証し、奏楽の奉仕などを依頼されることがあります。

- ① リーダーや責任者に奉仕内容等をよく確認して準備をしましょう。
- ② 用具等を確認し、何か準備の必要なものがあればリーダーと相談します。
- ③ 任されたことは最後まで責任をもって果たしましょう。使ったものや借りたものも責任をもって返却しましょう。
- ④ その他、リーダーの指示に従ってキャンプを盛り上げることに協力します。

## (4) 霊的な奉仕

### 1 キャンパーの個人デポーションを助ける

日常生活から離れて、数日間、十分に時間をかけて聖書のみことばに親しむことができるのは、キャンプならではの恵みです。毎朝デポーションの時間がありますので、カウンセラーはキャンパーを助けて、毎日デポーションを行う習慣を身につかせるように努めましょう。

- ① 個人デポーションの大切さを分かりやすく説明します（CSKジュニアみことばの光委員会「聖書を読もう」（聖書同盟）は参考になります）。
- ② まだ一人でデポーションが出来ないキャンパーとは一緒に行い、模範を示し、手本となりましょう。小学生はケースに応じてキャピンのみんなで行ってもよいでしょう。しかし、日に日に一人で行う部分を増やしていき、最後には一人でできるように導きましょう。

### 2 キャピンタイムをリードする

キャンプでは集会のメッセージの後（それ以外の場合もある）、「キャピンタイム」をもちます。

#### 〈キャピンタイムとは？〉

キャピンごとに、メッセージを通して教えられたことや受けた恵みの分かち合いをし、祈る時間です。松原湖バイブルキャンプではこの時間を大事にしています。

#### 〈キャピンタイムの留意点〉

- ① 一人一人の発言、心の動きを把握しましょう（メモをとっておくとよい）。
- ② 通常はカウンセラーがリードします。ただ、祈りはキャンパーに依頼したり、キャンパーの年齢が高い場合には、グループリーダーにリードしてもらったりするのもよいでしょう。
- ③ カウンセラーはできるだけ聞く側にまわり、キャンパーの発言の機会を提供し、キャンパーの霊的な状態を把握するように努めましょう。
- ④ 初日はお互いに自己紹介をして、みんなが親しくなるように導きましょう。キャンパーの中からキャピンリーダーを立てるのも一つのアイデアです。
- ⑤ 一日を振り返り、楽しかったこと、印象深かったこと、新しい発見、メッセージから教えられたこと、決心、反省点等をみんなで分かち合います。
- ⑥ 必要な情報やルール、リーダーなどからの連絡をしっかりと伝えます。
- ⑦ 次のアイデアも効果的です。
  - ・ 祈禱課題を出し合い、互いのために祈る
  - ・ 毎日ひとつずつ暗証聖句を行う
  - ・ キャピンのみんなで賛美する

### 3 祈禱課題、フォローアップ

#### ① 祈禱課題を書く

- ・毎日、各キャンパーについて祈禱課題を記入します。
- ・コピーされたものを見ながら講師と全奉仕者が祈る、大切なものです。
- ・ポジティブな表現で簡潔に、ペンで記入してください（コピーのため）。
- ・その夜のうちにリーダーズルームのポストに提出してください。

#### ② 「カウンセラーからのひとこと」（またはフォローアップ報告書）に記入

- ・キャンパーの励ましとなるようにメッセージを記入してください。
- ・自分が担当したたましいの霊的状态やその変化、カウンセラーからのメッセージを、送りだして下さった教会に報告するという大切な意味をもつ資料です。
- ・キャンプ後に、教会を通してキャンパー本人の元へ届けられます。
- ・初めに下書きの段階で担当者の承認をもらった後、書くようにしましょう。

その他、質問や相談などがあれば、一人で抱え込まず、信頼できる奉仕者に話してみましよう。そして、祈ってもらいましよう。私たちは一つのチームです。

カウンセラーの働きは決して簡単ではなく、自分の弱さを覚えることもあるでしょう。

しかし、生きて働かれる神さまがキャンパーに愛と恵みを注がれる御業を目の当たりにすることができる、本当に素晴らしい奉仕です。この働きに召して下さった主は、小さな者をも用いてくださり、成し遂げる力をも与えてくださいます。主に期待しつつ、良き備えをもって奉仕に臨みましよう。

私は福音のためにあらゆることをしています。

私も福音の恵みとともに受ける者となるためです。（Ⅰコリント9：23）

